

# 定 例 経 営 会 議 ・ 議 事 録

年 度	平成25年度	回 数	第12回
日 時	平成25年10月22日 午前9時30分～12時00分		
場 所	庁議室(本庁舎 3 階)		
出 席 者	渡部市長 荒井副市長 森教育長 榎本議会事務局長 諸田経営政策部長 當間総務部長 原市民部長 山口健康福祉部長 小林子ども家庭部長 西川資源循環部長 肥沼都市環境部次長 曾我教育部長 欠席者:なし		
次 第	1. 開会 2. 協議事項 (1)平成26年度組織改正(案)について 3.報告事項 (1)平成25年度職層別会議会議メモの配付について (2)市議会12月定例会提出予定案件・所信表明について (3)その他 4. その他 5. 閉会		
会 議 経 過	次頁参照		

## 1. 開会(市長)

10月10～15日にインディペンデンス市から18名の訪問団が、姉妹都市提携35周年を記念して来訪した。受け入れに当たって市民部をはじめ各部はご苦労さまであった。35周年といえ通常の訪問と大差ないが、特筆すべきは市役所と消防署の間の通りを「インディペンデンス市通り」と命名したことだ。先方のインディペンデンス市役所の近くには「Higashimurayma Drive」という名前をずいぶん昔からつけてもらっている。Driveは小道や路地という意味合いかもしれないが、それでも広い道だ。道路の名称は議会事項だそうで、「Higashimurayma Drive」にする時は在郷軍人会、つまりかつて日本と戦った人たちが反対したらしい。しかし姉妹都市委員会や市長さんの努力で命名された。当市にはインディペンデンスにちなんだ名称の道がなかったので、35周年を記念した。産業まつりも行う公共的な通りにインディペンデンスを冠した名前ができて良かったと思っている。言い辛いが、今後は市職員にも「インディペンデンス通り」と言ってもらい、定着を図っていただきたい。35周年を振り返ると、今回の訪問団長を務めたトワイラ氏も話していたが、やはり5年ごとの大人の往来よりも毎年の学生の交換に大きな意味がある。こちらでもそうだし、向こうでもそうだという。ハイティーンが多文化に接することで新しい可能性に進むきっかけを与えていると思う。今回の訪問に先立ち、国際交流協会がこれまで派遣した学生に呼びかけてOB会を設立した。大勢が集まったわけではないが、市外に住む人も結構来た。高校生や大学の1～2年生くらいの頃にインディペンデンスに行ったことが、その後の人生に大きな意味を持ったと言っていた。アメリカやドイツに留学して、今も国際的に活躍している人もいるし、弁護士が2人もいたのに驚いた。インディペンデンス市に行ったことが契機で勉強し、様々なことに挑戦されている。これは東村山市の大きな力・財産だと思う。国際交流は自治体にとってイミテーションのような部分もないわけではないが、当市には人材育成、若者を育てるという意味合いがしっかり根付いていることを誇りとすべきだ。

12日に青葉町でタウンミーティングを開催した。地元の話が多く出た。3丁目に市の集会施設があるが、それ以外には「公共施設が何もない」という話が毎回出る。所沢街道より西側のエリアにも何らかの集会施設がほしいという声がかねてからある。しかし市で新たな施設を作るということは、公共施設再生計画を立てている中では非常に難しい。その上で、青葉キャンパスが全面的に変わる。東京都が地域開放型として運営している施設は取り壊しが予定されているが、何らかの代替的な施設を作るかもしれない。市としては現状で地域住民が使用している集会施設を継続していきたいと話した。また、生活保護の問題等の話が出る。青葉町だけに限るものではないが特に青葉町には住宅地に課題がある。星が丘住宅では平成12年に私道の舗装を申請して、まだ全ては処理しきれていない。課題だと改めて思う。星が丘住宅の災害時の避難場所は6中になっている。橋で渡らなければならない川がある。青葉小学校に行くには所沢街道を渡らなければならない。可能ならば全生園を避難場所にできないかという話だ。全生園の災害時のあり方は、青葉町だけの話ではなく、仮設住宅の設置等も含めて、全市的に全生園と協議して、協定等を結ぶことができるように考えていただきたい。

16日には台風26号が関東地方に接近した。25日から防災は徹夜で待機、都市環境部は早朝に対応していただき、感謝する。学校も小学校は休校、中学校は始業を遅らせた。それに併せて子ども家庭部では児童クラブを8時30分から開設した。非常にうまく連携が取れた。

心配したほどの被害もなかった。しかし大島の状況を見ると、災害時に町長と副町長が島外に出ていてトップが不在だった。電話でやりとりしていたらしく、そこに判断の甘さがあったように思う。しかし当市でも、雨の場合の避難勧告や指示の出し方に判断基準がない。土砂災害が想定されるならば廻田、多摩湖の丘陵地帯かもしれないがあり得るのかもわからない。雨の場合の避難勧告や指示を出す判断基準作りを考えてほしい。河川の場合はどうなのか、土砂災害は実際に何ミリくらいの雨なら危険なのか。東京都で調査したことがあると思う。それらのデータに基づきながら、あまりに大量の雨が降りそうな場合は事前に学校の体育館等への避難を勧告する措置を取らなければならない。確かに「真っ暗である雨の中を避難するのは却って危険ではないか」という大島町長の判断も理解できる。しかし、「どうして前もって避難勧告・避難指示を出さなかった」と、後出しで言われるのが昨今だ。台風、竜巻、集中豪雨等の避難指示発令の判断基準を作してほしい。

20日から今年度の介護予防大作戦が始まった。20日は多摩湖町と萩山町だった。昨年はいきいきシニアの10周年に合わせて予算組みをした。すぐに数字に表れる効果が出ないまでも、介護予防の意識づけをする機会であり、市民自らが市民を巻き込んで介護予防に取り組むスタイルで展開するスタイルは残した方がいい。昨年はいきいきシニアのペースだったが、今回は各町の保健推進員、老人会等の動きになっている。皆で歌うとか体操したりしながら徐々に意識づけをするという展開らしい。今年度の事業展開を見ながら、どのような進め方ならば介護予防の実が上って認定率が下がるか。そこまで行けばいいが、引き続き健康福祉部にはよろしく願いたい。単純なイベントで終わらせるのではなく、地道な介護予防に繋がる活動を日常的に保健推進員や老人会にやっていただけるか、極力介護保険料が上がらないように続けていただきたい。

## 2.協議事項

### (1)平成26年度組織改正(案)について

本日は部、次、課を決定させていただきたい。

- 議会事務局：変更なし
- 経営政策部：都市マーケティング課と施設再生推進課を新設置。現在の施設再生推進担当を課長としたことによって、正式に次長を2名体制とする。都市マーケティング課は今後の住宅都市としての発展を見据えて人口問題に取り組む。施設再生推進課は現在の施設再生計画を発展させ、実施に向けて動く。どちらも係等の詳細未定である。
- 総務部：管財課には現在、営繕担当課長という形で2課長が配置されている。公共施設再生計画推進を考えた結果、営繕課として独立させ、管財課と営繕課の2課に分ける。
- 市民部：防災安全課と、生活文化課の防犯と空き家対策を、新設する環境安全部に移管する。
- 環境安全部：3課の小規模な部なので、次長は課長兼務とする。防災安全課は現在の業務のまま移管する。環境住宅課の課長補佐を環境対策係長兼務とする。環境関係の対策と住宅環境の2係制とする。住宅環境で空き家等の問題に対処する。地域猫もこちらで対応したい。事務分掌の切り分けは未定であり、都市環境部、市民部と調整させていただきたい。定数の問題もある。生活安全課は交通安全関係、場合によっては駐輪場を移管する。市民部からは防災安全と防犯、住宅関係、都市環境部から環境関係と交通安全関係、一部住宅関係が移管されること

になる。

●健康福祉部：生活福祉課の母子相談関係を子ども家庭部子育て支援課に移管する。それによって生活福祉課のマネジメント業務の一部軽減を図る。係の名称は仮称である。障害支援課に単独の課長補佐を配置する。現在の定数で行うか、定数1増とするかは未定である。

●子ども家庭部：子育て支援課に母子相談関係の相談窓口を移管する。子ども育成課の保育園・幼稚園係は、これまで2係だった庶務・幼稚園係を1係に統一する。

●資源循環部：係に若干の変更があるが、総体は変わらない。リサイクルセンターが一定の段階に来たので、次長を課長兼務とする。

●まちづくり部：今後のまちづくりの発展を見据えて課も変更している。2次長制を1次長とする。市街地整備関係で路政、市街地整備に渡り、基盤整備担当主査を置く。用地課は今後の用地取得等を見込み、用地第1係・第2係の2係にする。みどり公園課は、環境関係を環境安全部に移す。道路管理課は交通安全部門を移したため、係が減少した。下水道課は庶務係と施設係とする。公共交通課を新たに設置する。基本的にコミュニティバスを担当する。西武の廃線等、そういうものは全てこれからまちづくりで対応する。

●教育部は、市民スポーツ課の国体推進室を解体した。次長は、指導室長兼務で正式に次長としての位置づけとする。庶務課、ふるさと歴史館まで担当して、指導室長兼務の次長は指導室と教育支援課を主な担当とする。

●選管、監査には大きな変更はない。

本日審議いただき、再度、理事者と協議する。本日は部と課で、所管が不明な部分を確認するという事か。係関係の所掌は12月議会に向けて決めたいと思っているが、定数との絡みも出てくる。年内～年明けに作りたい。しかし所掌事務が決まらなければ定数も正式には配置できない。事務量によって定数は変わるし、移管するにもどれくらいの事務量かによって人数も調整するかがある。できる限り早く進めたい。

26年度以降、権限移譲や国の動きで、新たな業務が下りてくる可能性もある。それがどこの所管になるのか、最終決定機関として経営会議で決めるというルールを決めておいた方がいい。押し付け合いは時間ばかりかかって不毛だ。全部長が入って経営会議で決定するという形を本日決定したい。

組織について大きな変更点がある場合は事前に総務部と調整してほしい。名称程度ならばできるだろうが、経営会議の場で調整するのはできないと思う。今週中に調整してほしい。市民部と都市環境部とは今週中に調整したいと考えている。

環境安全部を委員会所管事項としてはどうするかであるが、市民部に絡むから生活文教だということもあるが、方向として4月以降は1日1委員会が濃厚だ。そうなれば合同の委員会ではなく、担当する部が委員会に出ることになる。委員会条例は部で決めており、環境安全部ができるから都市建設か生活文教かという話になるのか。協議が必要になるかもしれない。議会の意向もあるだろうから、整理していきたい。

以上、決定とする。

### 3.報告事項

#### (1) 平成25年度職層別会議会議メモの配付について

職層別会議は25年7月1日～8月28日まで開催された。今年度は新任の次長、課長、課長補佐、係長を対象とした。不祥事・事務におけるミスの撲滅をテーマに議論した。

一言二言では言えないが、今年度前半に続いた事務ミスと、昨年度以来続いてきた不祥事を踏まえての議論であった。全体的な空気として、職場外非行については管理監督職も率直に言って「そこまで面倒みきれない」という声が多数を占めた。しかし不祥事が多発したことについては、「職場環境にも一部問題があるのかもしれない」「コミュニケーションを図って兆しを早めにキャッチする努力は必要だ」という意見も多かった。

係長クラスで最も多かったのは「引き継ぎが適正に行われていないのではないか」という話だった。管理職層の引継ぎフォーマット化されて、文書でのやり取りが徹底されてきているが、一般職では職場によっては徹底していないらしい。

課長クラスからは、「役所の雰囲気がいぶ変わり、先輩がアフター5も含めて厳しく、時には優しく指導するという濃い人間関係が失われた。上っ面で仕事をしているのではないかとの危惧を持つ」という声がかった。「基本的にパソコンで仕事ができるから、前任者からある程度のことを聞いて数字や文言を打ち込むだけで仕事の体裁は取れる。全体の業務、法令、市の向かう方向の中で自分は何をしているのか、時間軸や空間軸での自分の位置をわきまえて仕事をしているかどうか、非常に不安だ。極端に言えばコピーで仕事がある程度できてしまう時代に、人間関係をあまり濃密にするとパワハラという話になるので、そこでの人材育成に苦労している」という話だ。それは部長も同じ思いを持っているのかもしれない。不注意というものでもなく、「入ってくる時点ではそれなりに優秀だけど、その後の育て方をうまくやらなければ、5年10年先に危なくなるのではないか」と言う人もいた。ボリュームも多いが、いい意見も多いので、共有してほしい。

## (2) 市議会12月定例会提出予定案件・所信表明事項について

市議会9月定例会提出予定案件・所信表明事項を確認した。

## 3.その他

### 〈タウンミーティングについて〉

青葉地域センターで開催されたタウンミーティングについて回答をお願いします。

### 〈伊豆大島への義援金について〉

東京都内ということで大島を考え、伊豆大島への義援金を募る。正式名称の案は「伊豆大島台風26号災害義援金」である。本日から義援箱を設置する。口座は1週間くらいかかるので、出来次第作り、ホームページで知らせる。東京都市長会でも先日の全体会で義援金を送ることに決定した。

### 〈大島への職員派遣について〉

東京都から、大島への職員派遣の依頼が来ている。家屋調査の経験者ということで、当市の対象者は2名だ。個別にお願いしているので、所属部長には協力をお願いします。

#### 〈台風対策について〉

台風が接近しており、消防署から、事前に前川付近に土嚢を設置・撤収作業をしたいとの話がありお願いした。

#### 〈人事評価制度について〉

10月23日マルチメディアホールで人事評価の評価者訓練を行う。必ず出席してほしい。この研修によって人事評価のバラつきを抑えたり、共通認識を持つことが目的である。部長も含めて全管理職悉皆である。

#### 〈式典について〉

第四中学校が11月2日に50周年の記念式典を行う。

11月3日には市民文化祭の式典が中央公民館で行われる。多くの市民が出るので、ご覧いただきたい。

#### 〈公共施設再生計画について〉

公共施設の再生計画について今後は市民説明会をするが、職員に対しての説明は、庁内の全次長が入って副市長を中心にした検討会議があるため、各部の次長に検討会議の状況を部内会議の場で説明させてほしい。庁内の説明会は別途考える。

#### 〈議会基本条例について〉

議会基本条例の素案ができた。明日からパブコメを行う。

それに併せて24日（木）19時からサンパルネ、25日（金）19時、26日（土）9時30分に市民センターで議会報告会を開催する。

### 5. 閉会(副市長)